



用水路掘削現場2003年9月10



水路沿いの柳並木は緑が鮮やかです。
(2005年8月23日撮影)



中村 哲 医師
ペシャワール会

日本古来の工法を独学

中村医師は日本古来の工法と河川工学を独学。筑後川の山田堰（斜め堰）に倣って取水地点を定め、堰を築いている。



筑後川 山田堰(福岡県 朝倉)



蛇籠(じゃかご)



聖牛(ひじりうし)

彼が帰って行ってから、栄叡(ようえい)、玄朗(げんろう)、戒融(かいゆう)、普照(ふしょう)の四人は久し振りに一緒になって、いま自分たちの眼の前に現れてすぐ立ち去って行った自分たちの先輩について話し合った。(中略)

三人の話の黙って聞いていた、戒融は、最後に口を開いた。

玄昉は行基と共に義淵の門だ。年齢も同じくらいだろう。玄昉は入唐し濮陽の寺にはいった。行基は日本で庶民の中にはいった。玄昉は法相を学んだ。

行基は病者に薬を与え、悩める者に祈祷を行った。橋がないところには橋を設けた。街頭に於いて道を説いた。玄昉は異国に於いて法相を学び、その奥義を究め、学才群を抜いてその国の天子から紫の袈裟を貰った。

行基は乞食と病人と悩める者の先頭に立ち、町から町へ、村から村へと説法して歩いた。

「というわけだ。どちらが豪いか、それは知らん。」

井上靖著 「天平の薨」より



ペシャワール会
加わって
中村哲医師の土木事業



灌漑用水確保15か年計画(2003年3月)
水量の多いクナル水系の水を利用した全長14kmの用水路建設をスタート

我々の鉄則とするのは地元
に即した地元の人々による
医療活動である。
アジアの同胞としての同じ
目の高さを持って
「国際貢献」「国際化」の
何たるかを静かに問い続け
るものでありたい。

中村哲

フランス人 エマニュエル・トッド氏 ソ連崩壊を予測
EUの経済問題は、ドイツ問題である ⇒ ドイツの圧倒的な競争力の強さ
ドイツを「帝国」と呼び、世界の破壊者になるとの懸念

ドイツ インフラを見ていない! 熊谷徹
「ドイツ人はなぜ、1年に150日休んでも仕事が回るのか」

メルケル首相たちの認識 2013年三党連立政権

ドイツの三党合意文書(抜粋) 交通分野の基本姿勢

モビリティは個人の自由、社会参加および豊かさや経済成長のための重要な前提となるものである。そのために必要な基盤が質の高い交通インフラである

それは、欧州およびグローバル社会におけるドイツの競争力を保障するものである。(略)
長年にわたる構造的な過小投資に対して、根本的な改革により交通路の計画および財源の確保を長期的な信頼性と実効性のある新たな基盤のうえに築いていきたい。

財政出動とIMFの変貌

IMFは、新自由主義経済学の緊縮財政を迫って小さな政府を要求していた時代と全く様相を異にし、いまでは「公共インフラへの投資の増大は残された数少ない成長促進のための政策手段である」とインフラ整備の重要性を説くほどに変貌した。

ローマ人の物語 X

塩野七生

ローマ人の真の偉大さはインフラの整備にあった

ローマ人が築きあげたインフラストラクチャー

「人間が人間らしい生活をおくるために必要な大事業」

- ・ 経済力が向上したからやるのではなく、経済力を向上するためにやるもの
- ・ 膨大な経費をかけ多くの人々が参加し長い歳月を要して現実化するもの
- ・ インフラがどうなされるかは、その民族のこれからの進む道まで決めてしまう

Fact Sheet: American Jobs Plan
(2021年3月31日米国ホワイトハウス発表)

米国内の公共事業投資の米国経済全体に占めるシェアは、1960年代と比べると40%以上も低下してしまっただけでなく、かつてInterstate highwaysを建設し宇宙開発競争に勝利した時代からこの方、わが国はインフラ投資をすっかり看過してきたが、American Jobs Planはまさしくそのアメリカに投資するものである。

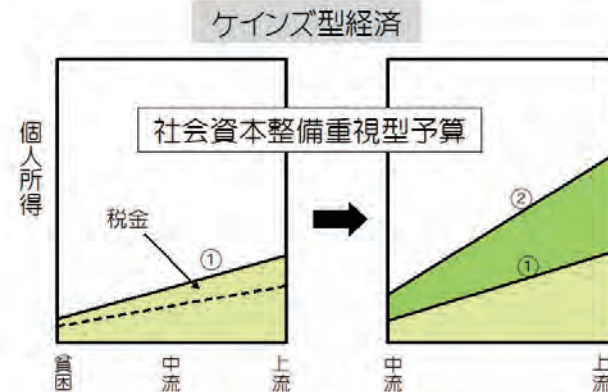
【Plan①】高規格道路を整え、橋梁を架け替え、港湾・空港・公共交通システムを改良する

- ボロボロになった輸送インフラを変革する
 - ・ 米国の道路と橋梁を補修する
 - ・ 公共交通システムを近代化する
 - ・ 信頼性のある旅客・貨物鉄道サービスの整備に投資する
 - ・ 電気自動車に係る適切な雇用を創出する
 - ・ 港、水路、空港を改良する
 - ・ 歴史的な不平等を是正し、交通インフラの未来を構築する
 - ・ 効率よく資源に投資し、効果の高いインフラプロジェクトを推進する
- インフラを強靱化する
 - ・ 重要なインフラとサービスを保護し、脆弱なコミュニティを守る
 - ・ 国土と水資源の強靱化を最大化して、コミュニティと環境を保護する

9 土木をとりまく戦後経済の流れ

昭和20年代～35年

昭和35年代～45年



昭和35年 所得倍増論(池田勇人、下村治)

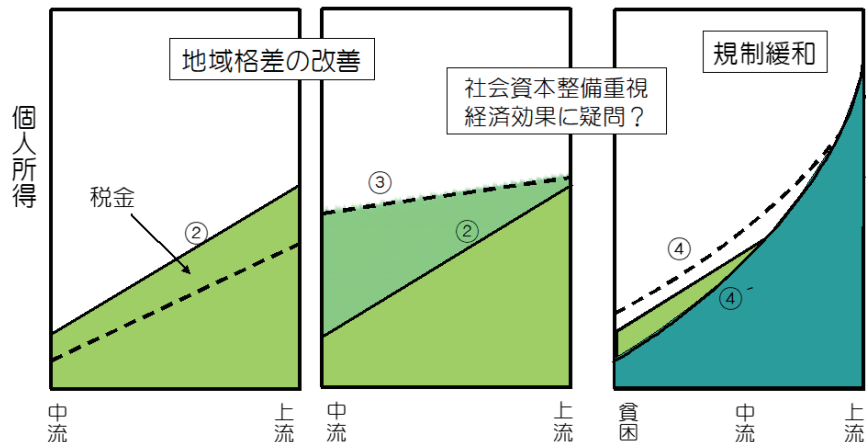
*下村理論「経済変動の乗数分析」

「英文で発表されていればノーベル経済学賞をとってもおかしくなかった」宇沢弘文

昭和45年～現在

ケインズ型経済

新自由主義型経済
(ハイエク型経済)



昭和47年日本列島改造論(田中角栄)

格差社会

ミハエル・エンデの遺言

～根源からお金を問う～

(1999年に放送されたNHK、BS1の放送より)

私が考えるのは、もう一度貨幣を『**実際になされた仕事や物の実体に対応する価値**』として位置付けるべきだということです。

そのためには現在の貨幣システムの何が問題で、何を**変えなくてはならないか**を皆が真剣に考えなければなりません。人類がこの惑星上で今後も生存できるかどうかを決める**決定的な問い**だと私は思っています。

重要なポイントは、例えば**パン屋でパンを買う購入代金**としての**お金**と**株式取引所で扱われる資本としてのお金**は2つの異なった種類のお金であるという認識です。

下村 治 の残した言葉

「**経済的に高い水準を達成したうえのことだが、ゼロ成長の日本は江戸時代のような姿になるの**がいい。

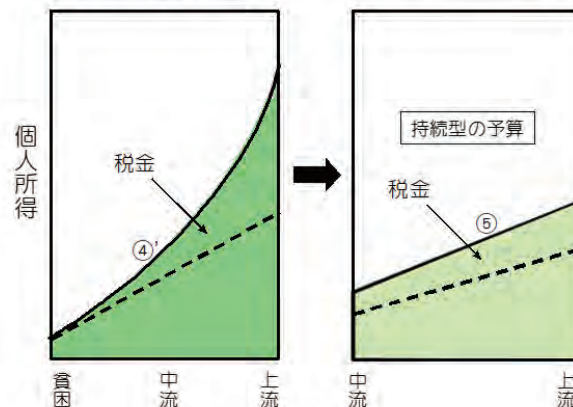
経済の後には文化とか芸術とか教養に力を入れる時代になるべきじゃないのかな。」

水木楊 : 「エコノミスト三国志 ～戦後経済を創った男たち～」

将来のわが国の経済は江戸時代型

新自由主義型経済
(ハイエク型経済)

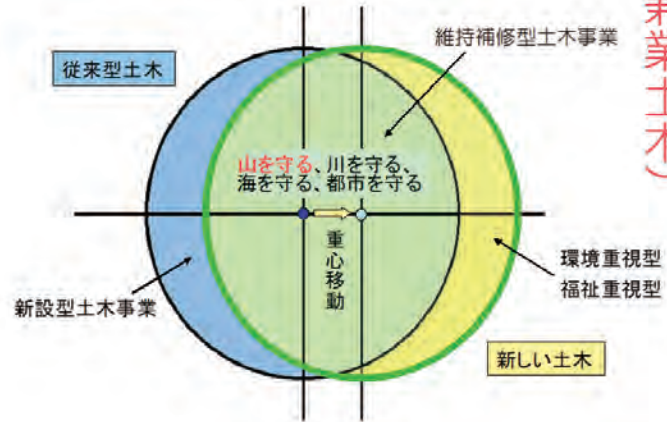
環境型ケインズ経済?



江戸時代型経済

持続型経済下での 土木技術

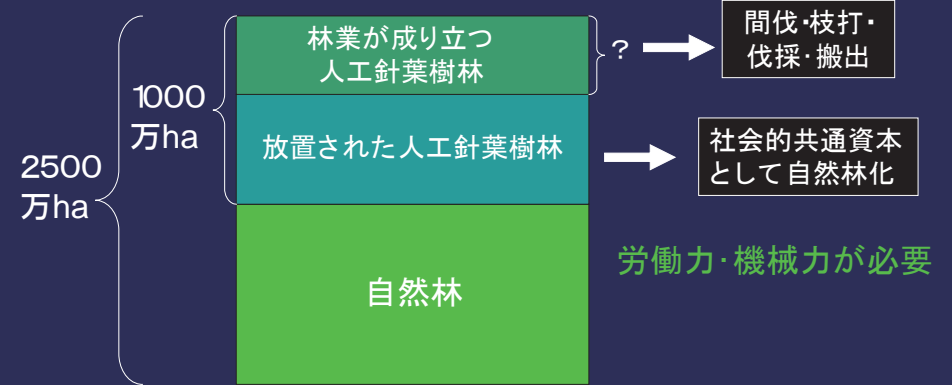
新しい土木を模索して



（兼業土木）
重心移動が必要である

わが国の山林

わが国の国土、3774万haのうち66%の2500万haが森林である。森林のうち40%が人口針葉樹林である。



30周年座談会

2023.2.13

◆◇ 35周年記念 コイシ塾 ◇◆
講師：中村 桂子様 (JT生命誌研究館 名誉館長)
開催日時(予定)：2月13日(月) 10:00~
内容：35周年記念 特別座談会

生きものとしての土木

JT生命誌研究館
中村桂子

- 本質を問う(内発的)
- 時代認識をもつ
- 権力からの自由

- 人間は生きもの
- 人間は自然の一部



【生命誌総巻】協力：田まりな 画：橋本梓子

10 人生 = ♪ 出会い

拝啓 前略
予定の1日遅れで Freiburg に到着し、明日(6/2)から Goethe-Institut の家に入れるとのこと。予定か1日遅れなのは、正反對の列車に乗ってしまったからです。Frankfurt の北東の Fulda とは行かず、西へは、知れずホテルを探し、食事と温泉。何かの予感です。独語英語を交えながら、何とかできます。Goethe の 日本留学銀行から派遣された日本人(男、32才)に会って、いろいろ親切に教えて頂き、心強く感じました。御報告に就いたすに、厚くお礼いたします。1.6.1991 Freiburg 112

〒854
長崎県諫早市天蔭町9-10
松田義親様

Japan
MIT LUFTPOST
PAR AVION

Freiburg im Breisgau



1989.06.02
長尾秀樹さん(アジア開発銀行)



日本開発銀行 長尾秀樹氏



科学技術振興機構
「地域再生人材創出拠点の形成」事業
審査委員会 座長

【略歴】

東京大学法学部において学位取得。
2004年9月から2010年1月まで当社取締役。
1980年以降、日本開発銀行（現株式会社日本政策投資銀行）に勤務。
2006年日本政策投資銀行新産業創造部長（ベンチャー企業向け貸出・投資、ファンド組成、VC管理担当）を経て2008年6月SGホールディングス㈱経営戦略部担当部長以降
2009年6月佐川フィナンシャル㈱代表取締役社長
2012年1月佐川グローバルロジスティクス㈱取締役
2013年4月SGアセットマックス㈱代表取締役社長
を経て2017年3月より佐川アドバンス㈱・SGシステム㈱監査役

2022.11.29

松田 浩 様

前略

ご無沙汰しております。お元気ですか？
毎年年賀状のご挨拶ですが、今回はお便りさせていただきました。

突然のお便りですが、理由があります。先般11月19日(土)朝日新聞首都圏版夕刊を見ていたところ、長崎大学の「道守」の記事がありました。

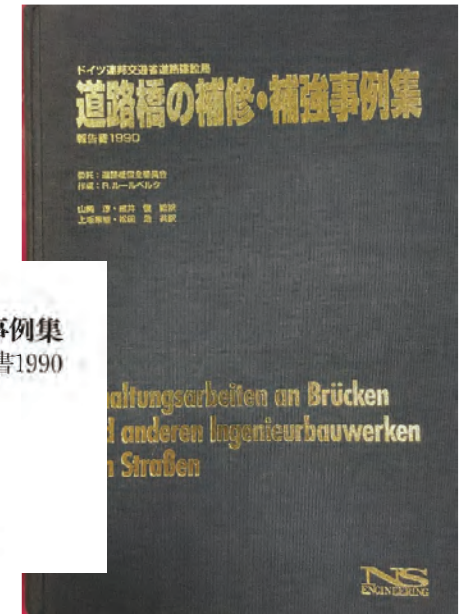
「長崎大は「道守」という資格もつかった・大学内部のインフラ長寿化に取り組む機関が、市民らに管理技術の養成講座を開き、認定する・道路や橋に異常を見つけたら大学を通じて県に通報する人材から、危険度を診断、補修計画を立てる人材まで四つのコースがあり、レベルに応じて実習時間を設定、育成してきた・県内を中心に現在千人が活動に関わっている。」

長崎は橋の維持管理の分野で先進県ともいえる存在となり、長崎大がJICAの途上国を対象とした道路や橋の維持管理の人材育成事業にかかわることになったという・・・」

以前に年賀状で「道守」の進捗について教えていただきましたが、このように大きく成長したことに感慨深いものを感じ、筆をとった次第です。おりしもNHK朝ドラ『舞い上がれ』で、長崎も舞台となり、そういえば松田先生はどうしているだろうか、と思っただけでした。

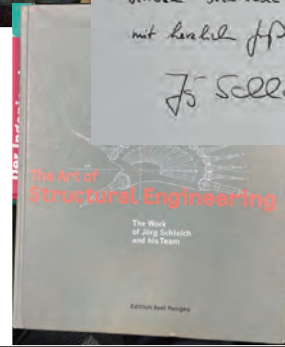
振り返れば、何年前か忘れましたが、科学技術振興機構 JST の助成プログラム対象プロジェクト選定委員会で、久しぶりに松田先生にお目にかかり、「道守」プロジェクトの説明を聞いたことが思い出されます。あの時は私が座長でしたので、選定にあたり「権限」を行使しましたが、将来の日本のインフラの維持管理更新問題を考えると、意義のあるプロジェクトであることは疑いなく、また、松田先生の独留学の経験とそこで得られた知識も知っていましたので、選定しても全く問題はないと考えていました。そして現在このように社会的認知を得られたことは、選定責任者としても嬉しい限りです。

記事では先生のお弟子さんでしょうか、プロジェクト推進者として長崎大学大学院工学研究科の西川貴文准教授のお名前がいましたが、「道守」の生みと最初の育ての親は、松田先生であり、このプロジェクトには先生の名前が刻まれることになるでしょう(いずれ「叙職」の可能性もあるのでは!?)。





*Kindle Matade
mit herzlich ff
Jo Schlaich
27.4.99*



Prof.Dr.-Ing. F. Leonhardt



山崎淳先生

池田尚治先生

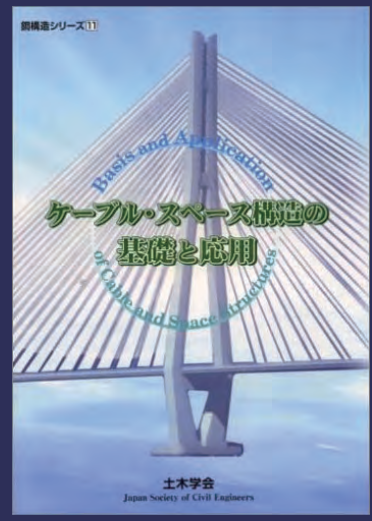
池田甫様

土木学会鋼構造委員会 (1995-2000年)

ロングスパン・スペース構造研究小委員会構成

(50 音順, 敬称略, ○印幹事業務)

- 委員長 波田凱夫 摂南大学工学部土木工学科
- 幹事長 藤野陽三 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻
- 委員 ○阿井正博 法政大学工学部土木工学科
- 石川智巳 (財)電力中央研究所 我孫子研究所
- 井上雅雄 (株)宮地職工所 設計部
- 大野克紀 川田工業 技術開発本部 技術研究室
- 金子俊一 (株)横河ブリッジ 橋梁本部 工務部
- 木内龍彦 大阪市立大学工学部建築学科
- 木村吉郎 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻
- 鈴木政直 石川島播磨重工業(株) 橋梁基本計画部
- 頭井 洋 摂南大学工学部土木工学科
- 高尾道明 NKK 橋梁建設部 開発技術室
- 田中 洋 日立造船(株) 鉄構・建機事業本部 建築土木設計部
- 田波敏行 太陽工業(株) 空間技術研究所
- 長井正嗣 長岡技術科学大学工学部環境・建設系
- 古屋信明 本州四国連絡橋公団 設計部
- 星整正明 日本大学理工学部交通土木工学科
- 前田研一 東京都立大学工学部土木工学科
- 松田 浩 長崎大学工学部構造工学科
- 増田陳紀 武蔵工業大学工学部土木工学科
- 水澤富作 大同工業大学工学部建設工学科
- 山口宏樹 埼玉大学工学部建設工学科
- 山田 均 横浜国立大学工学部建設学科



招待講演

- 阿部雅人 (東京大学)
- 春日昭夫 (住友建設)
- 川口健一 (東京大学)
- 熊谷伸一郎 (住友建設)
- 謝 旭 (埼玉大学, 現・開発コンサルタント)
- 樋口 健 (文部省宇宙科学研究所)
- 風間浩二 (住友重機械工業)
- 春日 昭夫 (住友建設)
- 川口 衛 (法政大学)
- 鈴木 英之 (東京大学)
- 半谷 裕彦 (東京大学)
- 本間 秀世 (住友建設)

長崎大学「ルー」講座2011
東日本大震災後の日本を考える
「巨大災害と社会基盤:その「進化」と課題」
2011年11月11日(金)



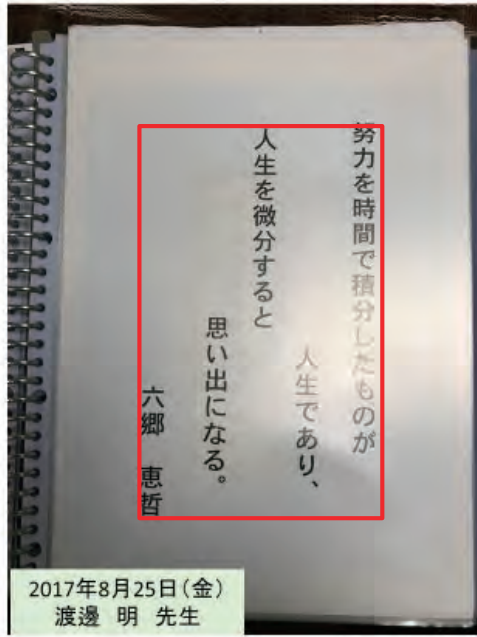
中村聖三先生

家田仁先生 (東京大)

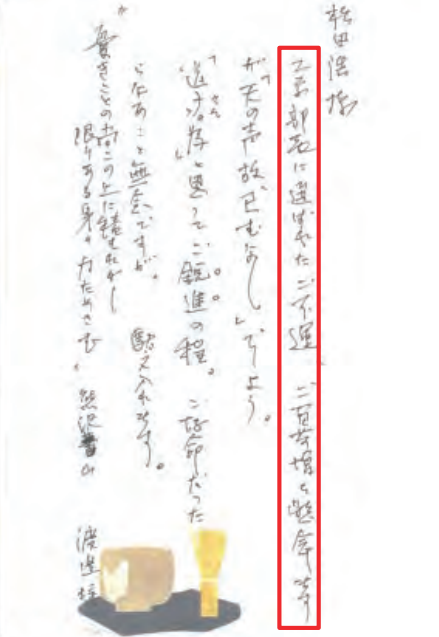
森田千尋先生

寿田先生





2017年8月25日(金)
渡邊 明 先生



1005 Column
失敗から学ぶ

1. 失敗は神が用意したものを
3. 文明の進歩と人間の退歩

2. わざと失敗させる教育

ところで、コンクリート工学誌2014年9月号で宮川豊草京大教授が、「講義に際し2年前から、優しい理解しやすい教科書をやめて「難しい材料学」へと舵を切った。学生がつまずく方向へ敢えて導き、本質を真に理解できるように計らったつもりであり、知識は自分との関係が有機化された時点でごそ知恵になると考えたからである」と述べ、また、「近年、コンピューター・IT時代になって、システムというブラックボックス化したツールを介して仕事をできるようになった場合は、人間の方に自らが手を下したという充実感が乏しいだけに、失敗が身に着かないのではないか」という趣旨のことも洩らされていた。

渡邊 明
九州工業大学名誉教授

長崎大学工部
土木工学科創立50周年記念事業

記念講演会
**丈夫で美しく
長持ち：
土木を、市民社会を!**

講演会 14:00 - 16:00 (13:00開場)
参加費 無料
会場 長崎大学文芸キャンパス 文芸スカイホール (グローバル教育・学生支援棟4階)

2019年9月28日(土)

「勲章雑感」

松田 浩一 先生

「この勲章を授けられた先生も私もその資格...」

三、人品の威力

昭和戦時下の戦時体制で得られたものではあるが、国から...」

渡邊 明 先生

「一、感謝こそ勲章...」

「二、教師賢利...」

「三、勲章の意義...」

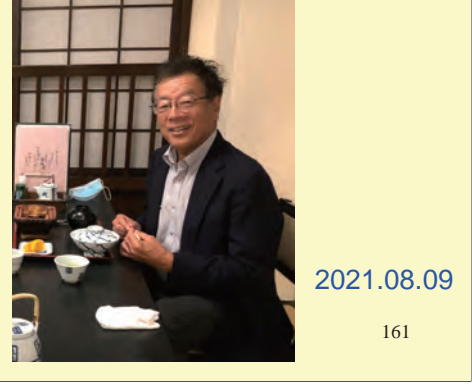
渡邊 明



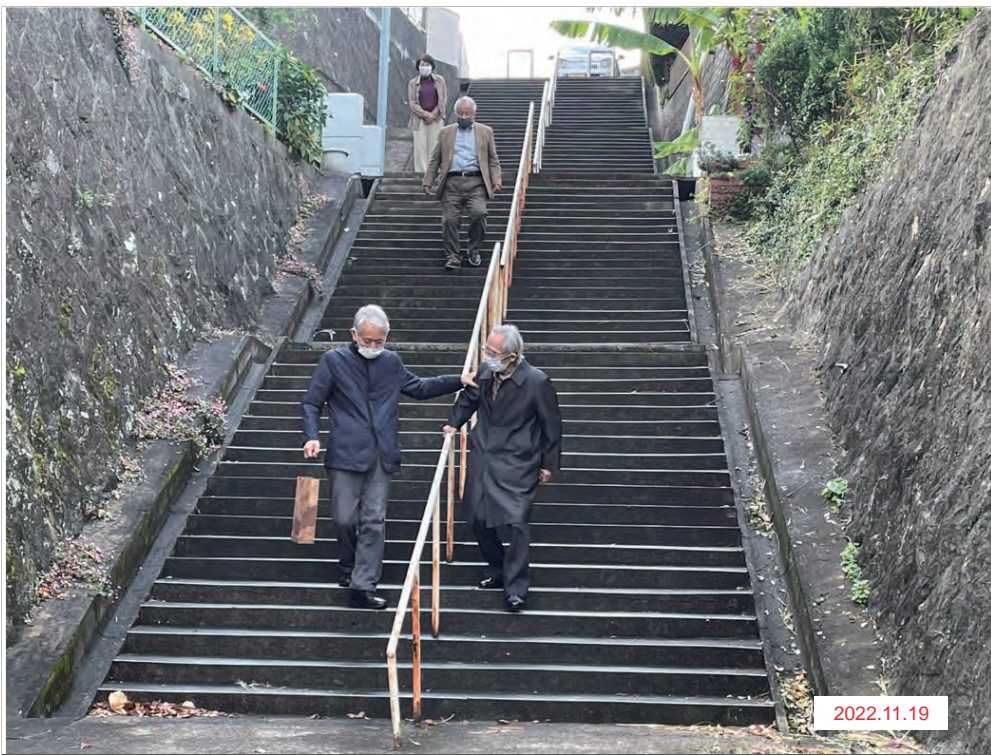
松田 浩一 先生

先日、長崎では大変お世話になりました。橋守やSIP関連の活動について先...」

渡邊 明



2021.08.09



ご清聴ありがとうございました



「道」 《東山魁夷》



昭和の子供の四季カレンダーより
《出光隆 先生》